

幸田町地域公共交通計画(素案)に対する意見(パブリックコメント等)と対応

資料1

【概要】
 ・意見件数: 12件(パブリックコメント3件、その他9件)
 ・パブリックコメント募集期間: 令和6年1月26日(金)～2月26日(月)

分類	連番	該当箇所	内容	対応	該当箇所
パブリック コメント	1	施策①	●幸田駅の整備 幸田町の玄関口としてふさわしい中心拠点として、幸田駅周辺の土地利用やまちづくりと一体となった新しい交通結節点(橋上駅や駅前広場)の構築の検討を推進します。 <u>幸田駅の整備について、整備状況を踏まえながら取組みを進めるとの記載がありますがどんな整備状況であれば、いつどんな取組をすすめるのか具体的にどんな取組みを進めるのか素案があれば記載して欲しい。</u>	東西を結ぶ自由通路につきましては、幸田駅前広場整備基本計画(平成28年度・都市計画課にて作成)においては、町施設として整備することを揚げていますが、西側と東側の高低差が大きく、実現には高額な投資が必要となることもあり、具体的な協議が進んでいないのが現状です。 町としては町全体を考えて対応していくことが重要となり、鉄道駅の整備に関しましてはバリアフリーを最優先として取組むこととしています。幸田駅は優先的にバリアフリー駅として整備しましたが、三ヶ根駅はいまだにバリアフリーとなっていないため、その対応として三ヶ根駅のバリアフリー化に向け調整をしているところで、幸田駅の改修につきましては、三ヶ根駅の整備後の取組になります。町が発展していくためにも、駅整備は重要な案件と考えているため、町の財政状況を見ながら、計画性をもって財源確保に努めていきたいと考えます。	-
		施策③	以前は幸田町内を名鉄バス路線が運行していた経緯から、町内から町外への移動手段として、名鉄バス路線の復活に対するニーズが一定数存在しており、必要に応じて幸田町外の隣接自治体への乗り入れについても検討する必要があります。 との記載がありますが、JR3 駅を交通結節点にした計画を立てられていますが、定期的に JR が遅延、運行休止などをする事が多く、公共交通機関にて町外または町内へ向かう利用者は代替手段がない状態に度々陥ります。その辺りの対策においても、別路線への接続を検討して頂きたいと思えます。 隣接する他の市町村と比べても、その辺りが幸田町の弱みだと感じます。 岡崎市以西や豊橋、豊川であれば、名鉄がある事で市内であればバスにて代替手段を絶たれる事がないです幸田町だけがかなり脆弱だと感じます。	ご指摘の通り、JRが遅延、運行休止した際に、移動手段が無くなる状況については把握しております。こうした状況も相まって、名鉄バスの復活に対するニーズが一定数存在しているものと認識しております。対応策として、えこたんバスの隣接自治体への乗り入れ等【主要施策に記載】により、代替的な移動手段について確保していきたいと考えております。	-
	2	施策③	①えこたんバスは廃止が必要と日々感じている。廃止できないなら抜本的改革すべきと思う。 広くもない道路を、大きな車がわがもの顔で突っ走っており、そばを通られると恐怖さえ感じる。人を乗せているのを見た事が無い空のバスを町中乗り回しているだけではないか。ドライバーも心苦しさを感じていないか気がかりである。R4年度の運航経費が29百万円とあるが、車両の償却費、ドライバーの労務費は含まれてないように思われる。抜本的改革とは、使用車両の見直し、運行ルート/時間を需要に合わせて変更のこと。	ご指摘の通り、えこたんバスの利用が乏しい状況については把握しています。こうした状況を踏まえ、地域公共交通計画の策定の後、バス路線の大幅な改定も視野に入れた見直しを予定しています。	-
		-	②公共交通会議委員の構成メンバーの中で住民/利用者の委員に誰一人大多数の“利用者”を代表していると思われる人が入っていない。 みんな肩書のある人ばかりで、これでは住民/利用者の意見は反映されない。真の利用者を構成メンバー加えて欲しい。 このように町の実施した施策の多くは、利用者となる住民の意見が吸い上げられることなく展開されてきた。せっかくお金をかけた施策も狙うところが住民の思うところにヒットしなければ空回りとなり、無駄となる。例えば、数年前の遠望峰テニスコートの改修、使いたくない仕様の面から再度同じ面で新品に作り直してもユーザーは使いたくない、大改修に多額の資金をつぎ込んでも何も良くなかった。何故改修前にユーザーに一言利用者に聞かなかったのか残念でならない。公共施設予約システムでもしかり、導入前に利用者にニーズや意見を確認したとは感じられない。一事が万事、同様であると感じる。それ故、役場が色々な施策を立案する際は、必ず利用者/対象者となる住民のニーズ意見意識を積極的に取り込む仕組みを作って頂くよう切にお願いします。	地域公共交通会議の委員については、住民・利用者の意見を収集するため、各団体(区長会、商工会、老人クラブ、各障害者団体)の代表の方を委員として選定しています。地域公共交通会議では個人ではなく、各団体の代表として意見を述べて頂いております。地域公共交通計画策定後の具体的な施策の実施に際しては、アンケートやヒアリングを行い利用者ニーズを把握しながら、取組を進めて参りたいと考えています。	-
	3	施策③	昨年夏より個人的急病から、藤田医大岡崎医療センターへの通院が必要になり幸田町役場～藤田医大岡崎医療センターの社会実験タクシーは大変助けられる存在になっています。いつも有難うございます。 ・交通計画素案を拝見して、藤田乗合直行タクシーのコスパが現状大変悪い事に驚きました。 有料化されるor 廃止のご検討をされてるかと思いますが、是非有料にて運営継続していただけたらと思います。 もし存続していただけるならば、公共交通機関の現行コストよりも高額になってしまうと利用しづらくなるので勝手な要望ですがリーズナブルな料金設定をお願いしたいです。今後、高齢化がさらに進展するならば幸田町にても直行タクシーのニーズは増加するのでは…と思考する次第です。	ご指摘の通り、藤田乗合直行タクシーのコスパパフォーマンスについては課題が存在していることから、より効率的な運用方法については検討を進めていくことが必要と認識しています。また、有料化の際には利用状況を確認しながら適切な料金水準を設定したいと考えております。	-
		1.3	計画の目標年次が、令和6 年度から令和11 年度までならば期間が「5 年間」ではなく「6 年間」ではないか? と思いました。	申し訳ありません。ご指摘の通り、令和6年度から令和10年度までの「5年間」が正しいため、計画書の方を修正いたします。	1.3
その他	4	-	えこたんバスの運転手の態度が悪い。チョイソコはタクシー運転手であることからよい。運行形態などを変えることも必要だと思うが、運転手に対しての研修なども必要であると思う。このドライバーの時には乗らないなどをよく聞く。	ご意見について、担当課の方に情報共有を行い、改善に努めます。	-
	5	-	えこたんバスは停留所での時間がないからか、乗降を急かしてくる印象がある。	ご指摘の通り、えこたんバスの利用が乏しい状況については把握しています。こうした状況を踏まえ、地域公共交通計画の策定の後、バス路線の大幅な改定も視野に入れた見直しを予定しています。	-
	6		えこたんバスで出かけた時に往復で使えない時があり、不便に感じる。		
	7		えこたんバスを幹として、チョイソコを枝と想定した運行を想像していると思う。そうなるように調整を進めてほしい。		
	8		えこたんバスのルート図を買った時に更新時からかなり時間が経っており、見直しをあまりしていないことを感じた。		
	9		ルートが長く、不便に感じている。		
	10	施策⑤	イベント時にシャトルバスを走らせるとあるが、グランドゴルフに行く足がなく、相乗りにも遠慮を感じて断念することをよく聞く。町主催の時だけでも、シャトルバスを走らせてほしい。	ご意見については、イベントの担当課に情報共有いたします。	-
	11	施策③	大日蔭グラウンドの下に停留所がないため、設置してほしい。	町民の移動特性や現状のえこたんバスの利用状況を踏まえて、適切に判断したいと考えております。具体的な停留所の設置の有無については、地域公共交通計画策定後の公共交通再編検討のなかで判断していきたいと考えています。	-
12	施策⑤	坂崎コミュニティライドの取組みを継続する上で、地域住民のモチベーションの向上が重要である。坂崎コミュニティライドに触れている箇所(主要施策、基本目標の文言等)について、表現を工夫し地域の方のモチベーションの向上や、行政がバックアップを行っていることのアピールに繋がるものとなるようにして頂きたい。	・計画書、本編の主要施策に、坂崎コミュニティライドの写真を掲載することとしました。また、基本目標の説明文の中に、坂崎コミュニティライドの記載を追記しています。	施策⑤	